

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和6年1月17日

補助事業者名:スルッとKANSAI協議会

評価対象事業名:地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
当該事業に必要となるABTサーバの構築は計画通り開発が進んでいる。 また2023年12月14日には、本事業によるお客様向けサービスの提供予定時期およびサービス概要についてプレスリリースを実施した。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施された。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
A	効果測定目標として「本システムへの参画事業者数を6事業者」を設定しているが、2024年6月のサービス開始時点でこれを達成する見込みである。
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
現時点で目立った要改善点は特になく、予定の検収期日までにABTサーバの構築を完了させられるよう引き続きプロジェクトを推進する。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された
B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。
C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)
B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)